

今日の目付

今日は2024年8月27日(火)です

企業情報横断検索

会社名を入力してください【例:ニフティ】

検索する

完全一致 前方一致

※より細かい絞り込み検索や、最終決算日の確認には、「企業情報横断検索」をご利用ください

お知らせ

日本経済新聞社の「日経業界分析レポート」なら丸一日かかっていた資料作成が、ワンクリックで完了 サンプル・業界一覧(約400)はこちら ※@nifty IDでログインが必要です

ご利用方法

Step 1. 会員登録(無料)

個人の方は「@nifty会員登録」、法人の方は「法人コンテンツコース」にてご登録ください

個人の方の登録はこちら

法人の方の登録はこちら

Step 2. 利用したいコンテンツを選択

コンテンツカテゴリ一覧などから、ご利用・ご購入したいコンテンツをお選びください

Step 3. ログイン・購入手続き

サービス内容をご確認の上、Step 1で取得したアカウントとパスワードでログインし、購入手続きへお進みください

サービスカテゴリ一覧

企業・信用情報

人事・人物情報

新聞記事(一般紙)

新聞記事(専門紙)

雑誌記事

市場調査・レポート

投資・ファイナンス

リリース

住宅地図・法律

初めての方へ(Q&A)

ビジネスデータとは？

ID・パスワードを忘れた場合には？

ビジネスデータでは、どのようなコンテンツを提供されていますか？

そのほかのQ&Aはこちら

会社名を入れるだけで与信調査ができる! @nifty IDですぐ使える 帝国データバンク

社給携帯 法人向け格安SIM コスト削減 NifMo

法人向け 高速・高品質 接続サービス @nifty 光ライフ with フレッツ

プレスリリース



JASMIN MUSIC

▶ プレスリリース一覧 ▶ 企業情報

マルチプレイヤーのヒカルド・バセラルー 日本人シンガーを迎えブラジル音楽を語るコンサート開催

(PR TIMES) 2024年07月13日(土)12時45分配信



ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・プレイスで2夜連続公演を行った。

画像1: https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/4/127766-4-81f8f89ce18484c054e2c1e591d6b1c8-3900x2600.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff ヒカルド・バセラルー

画像2: https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/4/127766-4-39898de6bc96b7efdb732ce1084ed35-3900x2046.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff 村田匠、ヒカルド・バセラルー、マルキーニョス・ラムス

画像3: https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/4/127766-4-a31ee4b50002e39c2bd1581466efdee7-3900x2600.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff ヒカルド・バセラルー、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・プレイスで2夜連続公演を行った。1日目と2日目で異なるパフォーマンスを披露。バセラルーは7月中旬まで日本ツアーを開催中で、13日は福岡、18日は鎌倉(神奈川県)での公演が予定されており、20日は再び東京でライブを行う。

ブルーノート・プレイスのステージでは、2日目の夜にインストゥルメンタル曲の「Fogueira」が演奏されたことが大きなサプライズとなった。同曲は、チェリストのジャキス・モレレンバウム(Jaques Morelenbaum)と共同制作したアルバムに収録される予定だ。

フォホーのリズムに、バセラルーならではの特徴を持つ楽曲で、ステージではマルキーニョス・ラムス(Marquinho Ramos)と村田匠が出演し、バンデイロを演奏した。

今回のツアーに同行しているバセラルーの妻マノエラは、「ブラジル北東部にルーツを持つこの音楽を聞けば体が勝手に動き出してしまう」と語った。

同じインストゥルメンタル曲で、ブルーノートでの公演のために特別のアレンジで演奏された「Vila dos Passaros」も話題となった。世界が過酷な状況下にあったコロナ禍の最中に書かれたというこの作品の曲調には、聞く人を鼓舞し前向きな気持ちにさせる力がある。

歌手のマリアンジェラ(Mariangela)は、「Upa, Neginho」でバセラルーと共演。この公演には歌手の山田タマルも出演し、バセラルーとともに「O Barquinho」を披露した。この曲は、バセラルーに説得されたボサノヴァの巨匠ロベルト・メネスカル(Roberto Menescal)が歌ったバージョンが先日再リリースされている。

また、バセラルーは日本へのオマージュとして、海外では「スキヤキ」の題名で知られる「上を向いて歩こう」をレパートリーに加え、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠とともに演奏した。

コンサートを鑑賞し日本人によるボサノヴァの演奏を楽しんだというセアラ日本人のチアゴ・マルソン・フォンセカ代表は、「ブラジルの優れた音楽が、二つの文化の間を流れるように見事に演奏されるのを聴くことは、我々ブラジル人にとって素晴らしい経験となった」と述べた。

ブラジル音楽に関する書籍「ブラジル・インストゥルメンタル・ミュージック・ディスク・ガイド」の著者であるウイリー・ウーバー氏は、「5年半振りに来日したヒカルド・バセラルー。ブルーノート・プレイスでは30分強の2セットという短めのステージだったが、ミルトンやエドゥ・ジル、ジョルジ・ベン、ベルキオールといったMPBスタンダード曲から、メネスカルのボサノヴァ曲、そしてオリジナルのフォホーまで、ブラジル色満載の内容となった。初顔合わせのゲスト・シンガー達とも上手く調和できたのはバセラルーのセンスの良さだろう。次の機会にはじっくりと聴いてみたい」と語った。

第1夜は中原仁、第2夜は桜井芳次郎がミュージックセクター(DJ)を務めた。

コンサートの制作はトゥビニキーム・エンターテインメントが担当した。

●7月13日(土)福岡 TIEMPO HALL https://tiempohall.tiempo.jp ※詳細・チケット情報→ https://x.gd/PC2j4

●7月18日(木)鎌倉 JAZZ CLUB DAPHNE https://www.jazz-daphne.jp ※詳細・チケット情報→ http://ptxcat/8S0K2v

●7月20日(土)東京 第17回ブラジルフェスティバル(代々木公園イベント広場) https://festivalbrasil.jp/ja/ ※入場無料 Free Live

Homepage shows: http://www.tupiniquim.net/

Youtube: https://www.youtube.com/@ricardo_bacelar

Instagram @ricardo_bacelar

Jasmin Music: https://jasminmus.com/

プレスリリース提供: PR TIMES

PR TIMES詳細へ

このページの先頭へ戻る

▶ 特定商取引法に基づく表記 ▶ お問い合わせ